

令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（71） 学校名 豊田市立大沼小学校

- 1 テーマ
伝統文化「雅楽」の音色が響く学校
－地域の力と小規模校のよさを生かす全校雅楽をめざして－
- 2 ねらい
 - ・大沼小学校区に伝わる「雅楽」の伝承活動を行ったり、地域について調べたりすることで「雅楽」の優しい音色が響く学校づくりを進め、日本古来の伝統文化のよさを感じ取る心豊かな児童の育成を図る。
 - ・「雅楽」の保存活動に取り組む地域の方と連携して活動し、地域への関心を深める。
 - ・雅楽で用いる楽器の演奏練習を児童と教師、地域が一緒に行うことで、大沼小学校の雅楽を発展させようとする意欲を共に高める。
 - ・地域の文化活動に積極的に参加するとともに、「雅楽」を通してふるさとに誇りを抱き、郷土を愛する心を醸成する。
- 3 活動内容
 - ・3～6年生は週1時間程度、1、2年生は音楽の時間として年間5時間程度練習時間を確保し、年間を通して計画的に活動を進めた。
 - ・「雅楽」の保存活動に取り組む地域の方を地域講師及び地域ボランティアとして招いて練習を行い、演奏技術の向上を図った。
 - ・研修時間を確保し、教職員も楽器を演奏し技術の修練に努めた。
 - ・学芸会では、雅楽衣装を身につけて、練習に励んできた演奏を保護者や地域の方、来賓の方に披露した。
 - ・お世話になった方への感謝の気持ちを表す「感謝の会」で、地域講師や地域ボランティア、教職員と一緒に演奏を行った。
- 4 成果と課題
 - (1) 成果
 - ・地域講師や地域ボランティアと一緒に年間を通して練習を行うことができた。地域ボランティアの方も増えたことや、地域のお祭りや博物館での発表等「大沼雅楽」を披露することができ、地域と連携した活動を進めていくことができた。
 - ・学芸会では、練習の成果をたくさんの方にみていただくことができ、多くの賞賛をいただいた。
 - ・心の相談員は、不登校傾向の児童の別室での対応や、学校生活で困っている子の対応をしていただき、児童の心の支えとなった。
 - ・校内整備員は、林が隣接する駐車場や校舎への獣害予防として畑の手入れや樹木剪定、草刈りを中心に学校敷地内の整備をしていただいたり、教室等のワックスがけや掃除をしていただいたりして、職員の負担を大きく軽減することができた。
 - (2) 課題
 - ・地域と連携した雅楽の活動を地域主体の活動にすることができるように、学校教育活動とのバランスを取りながら進めていく必要がある。
- 5 保護者・地域への情報発信の取組実績
 - ・ホームページ（15回）学校だより（4回）、校内掲示（随時）を通じて、雅楽の取組状況を紹介した。
 - ・学芸会や感謝の会で、保護者や地域の方に演奏を披露した。